

基幹共同研究「戦争体験の記録と語りに関する資料論的研究」第2回研究会

日時：平成18年9月9日（土） 13：30～18：00

10日（日） 9：00～14：30

場所：国立歴史民俗博物館 第一会議室

<タイムテーブル>

9月9日（土）

13：30～13：40 あいさつ

<ミニシンポジウム>

13：40～14：10 本康 宏史「戦争慰霊碑研究の現状と課題」

14：10～14：30 横山 篤夫「満洲」の忠霊塔と大阪の忠霊塔建設」

14：30～14：50 今井 昭彦「忠魂碑・忠霊塔をめぐって―群馬県下の事例から」

14：50～15：10 坂井 久能「忠霊塔をめぐると、三の疑点」

15：10～15：30 伊藤 純郎「学校教育と忠霊塔」（仮）

15：30～15：45 休憩

15：45～16：45 討論

<打合せ>

16：50～17：50 『歴博研究報告』の編集について

9月10日（日）

<ミニシンポジウム>

9：00～9：20 関沢 まゆみ「記録と語り―事実をどうつかまえるか―」

9：20～9：40 新谷 尚紀「記録された体験と語られる体験」

9：40～10：00 西村 明「サラエボにおけるユーゴ戦と語りについて」（仮）

10：00～10：20 藤井 昭「語られたことの公刊とプライベート」

10：20～10：40 村山 絵美（総合研究大学院大学）「沖縄の戦争体験の語り」（仮）

10：40～10：55 休憩

10：55～12：00 討論

12：00～13：00 休憩

<報告・打合せ>

13：00～14：00 中国東北地方調査の報告

14：00～14：30 南方調査の打合せ（調査参加者のみ）

以上